

ヒアリング項目

(会社・団体名 (株)ミールサービス たにぐち)

※以下の質問1～4について、お考えをお聞かせください。

質問1 これからの「地域福祉」に必要なものは何だと思えますか。

世帯の分離が進み、3世代、4世代が同居している家庭が減少し、高齢者世帯また単身世帯が増加してきている。地域においても老人会、障がい者団体等でそれぞれ活動をされているが活動の実態が判りにくい。横断的な連携を深め地域全体での取り組みにすることが大切と思えます。

質問2 今現在、貴社・団体等が「地域福祉」のために取り組まれていることがあれば教えてください。

現在長浜市・米原市・彦根市から「高齢者向け配食サービス」を受託し、独居高齢者宅を中心に毎日約800食のお弁当を届けています。その他長浜市彦根市、米原市、東近江市等のデイサービスの利用者様の昼食を作り届けております。これらの弁当・食事はお一人ずつのご要望にお応えして、ご飯の硬さやおかずの大きさ、ご病気等によるカロリーや塩分制限、嗜好による献立の変更等様々なニーズにお応えして、きめ細かな対応を行っています。また、食の楽しみを感じて頂けるように行事食等にも取り組んでいます。

お食事の配達と同時に「安否確認」をおこなっており、これまでも体調の悪化した高齢者に救急車を呼んだり、ケアマネージャー、家族等に連絡を入れたりしています。

近くに店舗が無く買い物に出られない山間部の高齢者に、依頼があればお弁当以外にトイレトペーパーや洗剤等を配達料無しで持参しています。

質問3 県が「地域福祉」を支援する上で、県に求められるものは何だと思えますか。

現在大手業者が比較的都市部の高齢者向けに配食サービスを開始しており、効率よく配達可能な市街地は低価格で攻勢を強めてきている。弊社も個人の配食弁当は市街地で減少し配達の効率が非常に悪くなってきている。これらの業者は山間部は配達区域外であり、特に山間部等の配達等に補助金を検討して頂きたい。

独居老人が増加し、親戚が無く行政が対応している先も増加してきているが、土・日・祝日等で行政に連絡が取れない場合もある。休日の対応窓口を設置する等検討をお願いします。

市町村によって福祉サービスにばらつきがある。(補助の対象者の条件、金額等)市町村独自の取り組みもあるとは思いますが県主導である程度の統一を図って欲しい。

質問4 その他、「地域福祉」について考えること、思うことがあれば教えてください。

自分たちの住む地域は自分たちで良くすることが大切だと思うが、山間部等では過疎化が進み行動が出来る若い人がいなくなっており、運動会・ふれあい活動等の行事がなかなか出来ないのが現状だと思う。今後高齢者だけではなく若い人も一緒に住める地域づくりが必要と考えます。